

『なすべきことは何か』を考えよう

「好きなこと」「できること」「なすべきこと」という区分けがあります。人生において「好きなこと」を仕事にして、自分が「やりたいこと」だけをやり続けることができれば、こんな幸せなことはありません。しかし、現実にはそれができる人はごく一握りにすぎません。だからといって、「やりたくないこと」を我慢してやりなさいと言っているわけではありません。組織（学校だと学級や部活動に当てはまります）においては自分が好きだとか嫌いだとか、やりたいかやりたくないか関係なしに「なすべきこと」があり、それは時に「好きなこと」よりも大切になるという考え方です。ある経営者が若いころ、「仕事とは何か」を考えた結果、「仕事とはお役立ちである。」という結論に達したそうです。大切なのは人に役に立つこと、周りの役に立つことであり、それは自分が好きか嫌い、得意か苦手かとは関係なく、誰かの役に立つことこそが仕事であり、それこそが「なすべきこと」だと考えて取り組んできたといいます。仕事をするうえで大切なのは好きか嫌いではなく、自分には何が求められているのか、自分が本当になすべきことは何かを考え実行することなのです。「自立を育む」みなさんへ…。

6月の行事予定	7月の行事予定
7日 (水) 生徒会朝会 (壮行会)	4日 (火) あいさつ運動
8日 (木) 学校総合体育大会所沢市予選会	教育相談週間 (~10日)
9日 (金) 学校総合体育大会所沢市予選会	5日 (水) 生徒会朝会・専門委員会
10日 (土) 学校総合体育大会所沢市予選会	7日 (金) 修学旅行荷物陸送日
12日 (月) QUテスト	9日 (日) 修学旅行①
15日 (木) 内科検診 (3年)	10日 (月) 修学旅行②
16日 (金) 専門委員会・合唱曲決め	11日 (火) 修学旅行③
20日 (火) 学年朝会 (3年)	12日 (水) 振替休業日 (3年)
21日 (水) 学年朝会 (1年)	校外学習 (川越巡り) (1年)
22日 (木) 学年朝会 (2年)	13日 (木) 5時間授業
24日 (土) 学校総合体育大会所沢市予選会 (陸上競技:会場:早稲田大学)	14日 (金) 4時間授業
※諸活動停止期間 (~30日)	17日 (月) 海の日
27日 (火) 先生方の出張のため4時間授業	18日 (火) 4時間授業
28日 (水) 全校朝会・水泳記録会	19日 (水) 学年集会・大掃除・給食最終日
29日 (木) 期末テスト①	20日 (木) 第1学期終業式
30日 (金) 期末テスト②	21日 (金) 全校三者相談 (~28日)

健闘を願っています！！

学校総合体育大会所沢市予選会 6月8日(木)～10日(土)

※試合開始時間については試合の進捗状況や天候によります。詳細はお子様にお聞きください。

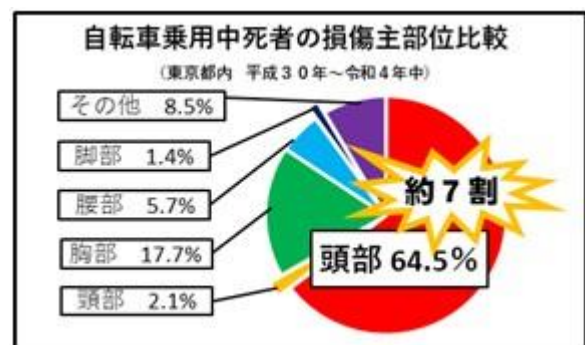
部活動名	1回戦の対戦校	日時	大会会場
野球	対 狭山ヶ丘中	6月8日(木)	航空公園県営球場
男子バスケットボール	対 上山口中	6月9日(金)	市民体育館
女子バスケットボール	対 美原中	6月8日(木)	山口中学校
サッカー	対 北野中	6月8日(木)	北中運動場第2グラウンド
男子ソフトテニス	対 狭山ヶ丘中	6月8日(木)団体戦	所沢市営コート
		6月9日(金)個人戦	北野運動公園
女子ソフトテニス	対 小手指中	6月9日(金)団体戦	所沢市営コート
		6月8日(木)個人戦	北野運動公園
ソフトボール	対 美原中	6月8日(木)	安松中学校
女子バレーボール	三ヶ島中、美原中、南陵中との4校リーグ	6月8日(木)	市民体育館
男子卓球	美原中、山口中との3校リーグ	6月8日(木)団体戦	小手指中学校
		6月9日(金)個人戦	小手指中学校

3年生にとっては最後の大きな大会となります。この2年間思うような練習ができなかったかもしれませんがどの中学校も同じ条件です。勝敗も気になることと思いますが今までの練習の成果を発揮してください。体育祭などこれからの行事ひとつひとつが「最後」となります。3年間の集大成として臨んでください。1、2年生は3年生が試合や練習に集中できるような役割を果たしてください。



【保護者の皆様へ】

コロナに対する制限等もだいぶ緩和され、保護者様の大会参観が可能となっております。お子様の活躍を応援いただければ幸いです。さて、それぞれの部員は大会会場まで自転車で行くこととなります。令和5年4月1日からヘルメット着用が努力義務となっていることから学校としては、大会や行事等で自転車を使用する場合はヘルメット着用を指導してまいります。保護者の皆様におかれましては、まだご購入されていない場合はご準備をお願いいたします。9月以降の新人戦からは全員が着用して安全に会場に向かえるようにしたいと考えています。



自転車死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っています

自転車事故で死亡した人の約7割(注記1)が、頭部に致命傷を負っています。

また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用していない場合の致死率は着用している場合と比較すると約2.3倍も高くなっています。自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。

(注) 平成30年から令和4年までの東京都内における自転車乗用中死者の損傷部位の割合

(警視庁のホームページより抜粋)